広報
ながはま

発行所
愛媛県喜多郡
長浜町役場
印刷所　岸本印刷所

2月の人口動態

男	8.331		
女	8.934		
計	17.265		
世帯数	4.097		
	（末日現在）		
出生	23	死亡	15
婚姻	6	離婚	1

十議案を可決

昭和三十九年第一回臨時会

昭和三十九年長浜町議会第一回臨時会は、去る二月十四日午前十時から役場会議室で開かれました。

同日は、まず新谷文教厚生委員長の委員会経過報告があつて、本会議にはいり昭和三十八年度追加更正予算四件、条例の改正案二件起債に関する議案三件、有線放送施設の運営継続に関する議案一件、以上合わせて十件の議案が上程され、いずれも原案の通り可決され、午前十一時五十分閉会しました。

この後、議長、副議長、各常任委員などの改選が、別項の通り行われました。

なお、同日の議会で決つた主な事項は次の通りです

◇ 長浜町職員給与条例の全文改正と、長浜町教育長給与条例の一部改正。

◇ 有線放送施設の運営を継続すること。（昭和三十九年五月十四日で、有線放送施設に対する郵政大臣の認可が切れるので、これを更に五ケ年間有効期間延長の申請をして昭和四十四年五月迄延長するものです）

◇ 義務教育施設整備事業費充当起債九百六十万円（青島小学校分）

体育館施設整備事業費充当起債壱千万円。

漁港改修事業費充当起債四百万円の借入れを決定。

◇ 昭和三十八年度一般会計歳入歳出追加更正予算二百五十八万四千円の追加。これで一般会計の総額は、一億七千八十四万円になりました。

議長に

一宮亀久雄氏再選

副議長 満野公介氏に決る

去る2月14日臨時町議会が招集せられました。この会議で長浜町議会構成が次のように決まりました。

長浜町議会構成表

◎委員長ー会長　○副委員長ー副会長

議長……一宮亀久雄
副議長……満野　公介
総務……◎東　豊　○田村龍一　清水　猛　後藤熊市　石田政雄　二宮邦
建設……◎小西豊己　○明関定市　浦田　定　中上芳則　本田重太郎
松岡武平治
文教厚生……◎菊地伝蔵　○吉本吉信　西村　護　新谷芳朗　渡辺仁之助
紙本徳之助
産業経済……◎津田利広　○二宮利行　山下清雄　池田　登　宮本数美
徳山長永　○二宮利行　吉本吉信　徳山長永　西村　護
上水道施設特別委員……◎清水　猛　松岡武平治　田村竜
小西豊巳
住宅入居者選考委員……新谷芳朗　菊地伝蔵　中上芳則　清水　猛
監査委員……池田　登　明関定市　二宮利行
議会運営委員……◎西村　護　浦田　定　本田重太郎　二宮　邦　徳山長永　○渡辺仁之助　後藤熊市
大洲市喜多衛生組合会議員……西村　護
都市計画委員……池田　登　紙本徳之助　田村竜一　宮本数美
国民健康保険審議委員……紙本徳之助　渡辺仁之助　菊地伝蔵
体育館特別委員……◎後藤熊市　○新谷芳朗　浦田　定　山下清雄　松岡武平治　東　豊

節度と元氣さを

昭和39年 長浜町消防団出初式

昭和三十九年長浜町消防団出初式が、去る二月十五日午前十時から長浜高等学校グランドで、団員四百三十人が出動し盛大に行われました。

この日は、摂氏四度で、きびしい寒さの中にも節度と元気さのあふれる精鋭の手で、まず完全に整備された機械器具やポンプ操作法等の妙技が披露されました

次いで表彰式が行われ、戎忠男副分団長以下百九十六名が、それぞれ表彰を受けた後、町長から「昨年から、今年にかけて災害が少なかつたのは、団員各位のご尽力の賜わりであり、今後も町民の生命、財産等、長浜町民一万八千人の福祉の基盤を守つて下さい。」と挨拶しました。

次に来賓の祝辞があつてその後、戎忠男副団長から消防団員を代表して「ますます町民の為、消防精神の発揚に、まい進致します」と誓いの言葉を述べられました。その後、一宮亀久雄団長から「一万八千人の町民の為、われわれ消防団員は、昭和三十九年も節度ある消防精神を発揮して、消防事業にまい進してほしい」と訓辞し、午前十一時半に式を終りました。

引き続いて消火弾による模擬家屋消火訓練の後、町内をパレードし、続いて長浜大橋で二月の寒空に向つて一斉放水を行い、白いしぶきで長浜大橋を包み、見物人の目を楽しませました

なお、被表彰者は次の通りです。

【日本消防協会表彰】
戎　忠男（副団長）

【自治消防発足十五周年記念日本消防協会長表彰】
一宮亀久雄（団長）、戎　忠男（副団長）、門田計雄（本部班長）、久保勝輔、渡辺　繁、新田五月、田中勝一、島田寅男、鎌田博郷、笹田　智、二宮義徳、徳田二郎、井上勝嘉、渡壁本雄、久保一光、中村佐喜男、鎌田賢一、新江時行、久保　寛、小西千元、東健一、久保宮夫、西岡正則、熊本政芳、大谷久吉、久保正甫、沢井福督、池内定雄、高田清見、山本好光、立脇宇之助、川井　満、後藤実、津田忠士、魚見栄一、高木満敏、谷上　貢、東春秀、福田光頼、宇都宮達夫、宝生典隆、神内　登、兵頭方平、兵頭成敏、兵頭時続、松田肥一、清水　棟、高橋一高、西尾七五三雄、坂東武男、片山光男、松浦敏明、山下恵一、沢井重夫、谷田玉輝、本田高博、高屋巧、神元正志、神内　悟、松本清久、沢井米一、沢井時弥、沢井利明、滝田竜光、三ツ野　東、井上忠男、畑石岡誠一、中谷　洋、久保吉野充喜、上野　寛、矢野勝幸、池田　元、池田喜美夫、小西考夫　東　義博、篠崎定雄、古中大津道忠、自石平八、山下　邦夫、福岡正員、池浦秋男一夫、大野和徳、向井数美　西山清文、後藤春雄、神内横畑松太郎、西上治重、松　登、兵頭方平、岡田恒春、田重高、中田　晋、久保正　片山光男、沢井米一、畑澄吉、西村利秋、大成　淳、　岩平、浜川春美、小西睦男北岡　務、山本喜三郎、増　菊地慶穀、木下慶喜、神山田成虎、松本年久、松本筆　武、清水弘一、増田成虎、夫、都田恒夫、上田嘉朋、井上幸一、後藤保夫、神山河村　登、尾上正三、山本　栄次郎、沼田孝幸、渡辺正和夫、渡辺都卓、酒井芳綱　勝、岡本亀格、堀尾寛治鎌田久雄、山本　正、山本啓三郎、山田慶亀、石堂栄久、山城博愛、窪　猛、白石明義、大塚　勉、坂田平六、田淵和男

【愛媛県知事表彰】
島田寅男、津田忠士、向井数美

【愛媛県消防協会長表彰】
西尾七五三雄、森本六郎、池田喜美夫、大成　淳、西岡正則、宝生典隆、尾野幸太郎、井上忠男、山下一夫、尾上正三、清水満秋、大塚　勉、鎌田博郷、高田清見、市川潤三、東　春秀神元正志

【郡連合会長表彰】
村橋俊一、中川浮夫、会、松本真一、田窪　栄

【町長表彰】
河野登亀男　矢野清隆　長見一男、岡本　光、浪本正夫、宮井　直、井上武治谷上光秀、中見藤雄、池田吉行、川田敏文、桑野豊吉沢井彦一、沢井利明、沢井時弥、坪田伊佐夫、上田金、穂積和臣、藤田勝馬、矢野正治、岡村安男、山本衛、山尾初重、松田吉幸、上岡正幸、竹内信義、武知和道、松本正夫、木村嘉男藤本美次、新　勲

【優良分団町長表彰】
櫛生分団

【民間町長表彰】
長浜中学校、青島婦人会、松本真一、田窪　栄

国民年金

未加入で損をした方

当町でもすでに発生

日本国民で満二十才以上の方は、全部国民年金か厚生年金または、その他の年金のいずれかに加入しなければならないことになつています。

まだ、いずれの年金にも加入しておられない方は、役場または、各地区の連絡所へ申し出て加入手続きをして下さい。

この国民年金は、加入者が掛け金をかけなければならないことになつておりますが、生活が苦しい等の理由でかけられない方には、保険料免除の制度もあります。

だれでも元気な間は、自分が事故にあうとか死亡するなどということは考えないものですが、すでに当町でも、この年金に加入していなかつた為に、せつかくもらえる福祉年金（母子年金等）が一生もらえないという気のどくな方が次ぎ次ぎと出ています。

未加入者は、今すぐに加入の手続きをいたしましょう。

「アッ!! 煙が出ている」

大火寸前見事に消火

大和第二校の生徒

太和第二小中学校の児童生徒の機敏な処置によつて早期消火に成功し、大事にいたらずにすんだという明かるい話題です。

去る二月二十二日（土）午後一時頃、大和第二中学校三年生の門田敏郎君、同じく山下幸男君、菊地親次君、同じく二年生の佐々木秀紀君、それに大和第二小学校五年生の神野俊章君の五人が学校から帰つている途中、豊茂下区の藤淵栄松さん宅の家から、ものすごい煙が出ているのに気づきさつそくかけつけました。

かけつけますと、藤淵栄松さんは野良仕事に行かれた後で留守であることがわかり、まず入口のドアを押し開け家の中に入り、ものすごい煙の中で中学三年生の門田敏郎君が、さつそく大和農協豊茂支所と大和第二中学校とへ電話で連絡しました。

そして、燃えているフトンや畳を五人で運び出し、消火につとめました。

その為、大火になる寸前で消し止めました。

一方、知らせを受けた大和農協豊茂支所ならびに大和第二小中学校では、さつそくバケツを持つて現場にかけつけましたが、その時には五人の児童生徒たちによつて、もう火は消し止めていました。

ところで、もし、この五人の児童生徒の機敏な処置がなかつたならば、大火に至つていたことは言うまでもありません。

この火災早期発見、消火につとめた五人の児童生徒の功績は、誠に大きいものがありますので、近く町で表彰することに決めました

消火につとめた神野君、佐々木君、山下君、菊地君そして門田君（左から）

連絡に走つて皆んなに知らせた高屋勝恵さん（右）と水沼あけみさん（左）

櫛生小学校でもおてがら

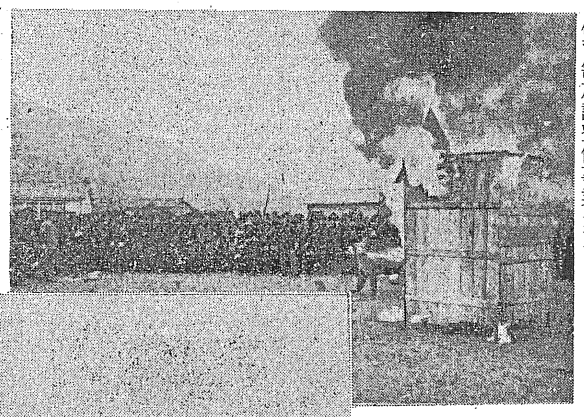
櫛生小学校一年生の高屋勝恵きん、同校二年生の水沼あけみさんと、大字須沢、水口清子さん、水口テル子さんの四人が、去る二月二十四日午後四時半頃、大字須沢のオモダの山林で、炭がまの火をとめに行く途中、山火事を発見しました。

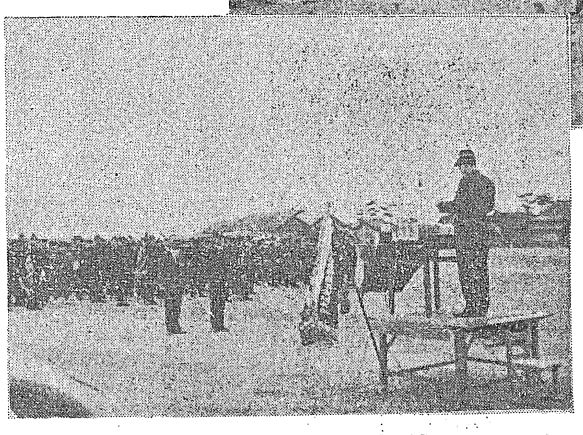
ただちに水口清子さんの指揮で、高屋勝恵さんと水口あけみさんとは、約一、五キロメートル離れた須沢公民館へ連絡に走り、須沢公民館のトランペットで、須沢地区の方々に知らせました。

さつそく知らせを聞いたら櫛生中学校三年生、西岡敏博君、同校一年本田寅男君、同じく、田中寛君、櫛生小学校六年生水沼邦彦君、同校三年、川本孝久君、須沢、沖浦地区の方々とが現場にかけつけ消火にあたりましたので、大火にいたらずに、午後六時頃、消しとめました。

この山火事が、大火にいたらず、早く消しとめることができたのは、水口清子さんの適切な指揮と、高屋勝恵さんと、水沼あけみさんたちの必死の活躍によるものです。

なお町でこの二人も表彰することに決めました。





写真上＝模擬家屋消火訓練　写真下＝表彰に輝く団員

夢いっぱい!!

うれしいなあ 一年生

もうすぐ新学期が始まります。新しく一年生になるお子さん（長浜町では別表の通りです）そしてお家の方々は、その日を楽しみに待っていらつしやることでしよう。

子供さんは何人あつてもどの子供さんも、それぞれ入学は初めてです。

新入学児の立場になつて導きましよう。

ところで、今までと全く違つた学校という集りの中で、これから生活することになる毎日は、子供にとつても、肉体的にも、精神的にも大変な日々なのです。この苦しさにうち勝つて楽しい学校生活ができるように、ご家庭でも細心の準備を整えて下さい。

おかあさん方へ

そこで、まずおうちの方々、特にお兄さん お姉さん、お父ちん、お母さん そしてお母さんたちはこの新しい門出に立つている子供さん達、弟や妹にたち対して温い励ましのことばをおくつて下れ。

そしてお母さんかお姉さんが腕をふるつてごちそうを作り家中でお祝の会を開かれてはいかがでしよう。

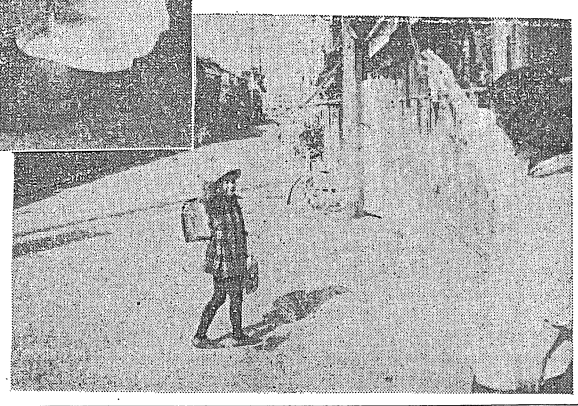
また、たとえ小さなものでも、記念品などを贈つてあげましよう。

なお、今後しばらくの間は、特に注意深い思いやりが必要です。

今までの自由な生活から離れて、急に時間にしばられながら大勢の人の中での共同的な生活に入るのですから、心身共にとても疲れます。

学校から帰つて来たら、「何を勉強したの？さあ、おさらいをしなさい。」とうるさくいうのは禁物ですかるく、学校の話を聞く程度にし、昼寝でもさせてあげましよう。

特に食べ物、睡眠時間などに気をつけましよう。（写真は、長浜町本町三丁目で写す）



「新しい門出には温い愛のはげましのことばをもつて……では、いつていらつしやい」

桜やつつじ苗五百本植樹
育てようみんなの愛の手で

沖浦

桜の名所として、県下に名高い沖浦観音に、白滝の武知苗木店主の破格の苗木提供と、沖浦地区の方々のご協力により、このほど桜の苗木三百本、つゝじ苗木二百本を去る二月二十九日植樹いたしました。

今後は、沖浦地区子供会の皆さんの手で育てていただくことになりました。

観音客の立派な憩いの木となるよう、みんなで苗木を育てゝやりましよう。

（写真は11面観世音長浜町新町の青野義生氏提供）

町内めぐり（4）

愛媛八勝十二景

桜と眺望国宝の沖浦観音

このお寺は、万松山瑞竜寺といい、十一面観世音を本尊としています。

この観音像は、今から千三百余年前、推古大皇の時代に鞍作止利という飛鳥時代第一の仏師が彫刻したものです。

（この人は、わが国彫刻史の最初を飾る第一人者であり、当時の彫刻は、現代美術の粋を集めても、とうてい利達しえない神秘的な極致を表現しています。）

ところで、寿永年間に、平の清盛入道の息女時代子姫が父の罪障消滅の為、上浮穴都小田町清盛寺へ寄進され、その後、盤圭国師開山の大洲の如法寺に移されさらに大洲城主加藤出羽守泰恒公が参勤交代の海上安全を祈る為、この沖浦の地に移されたものだと伝えられています。仏像は当初、現年住職が居住している所に安置してありましたが、大正九年三月に現在の所へ本堂が建設されて移され、大正元年年九月に国宝の指定を受けました。

なお、海上の安全を祈ると共に安産および男女性別の慾しい子をさずけられる功徳があるといわれ腹帯を受ける人も多く、大祭の四月十七日には、遠近からの参拝者が多く、当地万最大（約二万人）の人出でにぎわい、吉例のモチまき、宝ひろい、その他数々の催しがあり参道の両側には出店が軒を連ねて、祭礼気分を盛り上げます。

また、当町随一の桜の名所（吉野桜）としても有名で、四月に全山が桜の花でつゝまれる頃には、花見の客で大変にぎわいます。

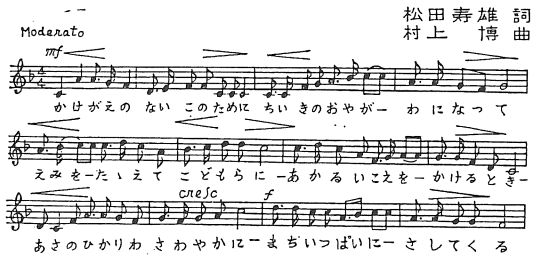
昭和39年度新入学児童一覧表

学校別	男	女	計
喜多灘小学校	11	10	21
長浜　〃	64	43	107
青島　〃	4	6	10
櫛生　〃	20	11	31
出海　〃	7	7	14
大和第二　〃	10	7	17
大和第一　〃	17	13	30
柴　〃	3	9	12
白滝　〃	14	13	27
戒川　〃	3	7	10
合計	153	126	279

笑みをたゝえて子供らに
さあ!!みんな歌いましよう
「愛護班の歌」を

愛護班の歌

詞曲　松田寿雄　松上　博　田村　博



地域の親が輪になつて
笑みをたゝえて子供等に
明るい声をかけるとき
朝の光はさわやかに
町いつぱいにさしてくる

2. かけがえのない子の為に
地域の親が輪になつて
我が子人の子へだてなく
愛のまなざし交すとき
まひるの光うらゝかに
子等のひとみに
てりはえる。

3. かけがえのない子の為に
地域の親が輪になつて
夕げをかこみ語り合い
楽しい歌のもれるとき
星の光はまたゝいて
明日の希望がわいてくる

4. かけがえのない子の為に
地域の親が輪になつて
子等すこやかこ守るとき
国の未来は背負われて
世界の空の果てまでも
平話の鐘が鳴りひびく

愛媛県PTA連合会選定
松田寿雄　作詞
松上　博　作曲
堀江貞一　編曲

愛護班の歌

1. かけがえのない子の為に

住民相談室

【問】愛護班活動とは一口にいつて、どんな活動をいうのですか？（長浜町大字青島　T・H生）

【答】学校に、子供たちを行かせている親たちならだれでも、その一員である県PTA連合会が県教育委員会といつしよに昭和三十七年あたりから大きくとりあげている運動です。

一口にいえば、学校、家庭、地域社会を通じて、おとなたちが、すべての子供たちの幸福を願つて、助け合い努力しようというのです。

なぜ必要か？

少年、少女の不良化は、十四、五歳位の年令から目立つて多くなつています。

また子供達の方が、おとなにくらべて、交通事故や水難事故の被害者が多くなつています。

これは、子供たちを立派に育てようとする、おとなの心がまえが充分でないことに原因する場合が多いようです。

あまり好ましくないラジオ、テレビ放送、映画、マンガなどのはんらん、遊び場をもたない子供たち、どの一つを取り上げて見てもみんなが力を合わせなくてはできない事ばかりです。

子供たちに愛と力を
学校、家庭、地域総ぐるみで

活動のねらいは

愛護班は、PTAの日常活動の細胞組織ともいえますが、もちろんPTAだけにはかぎらないで、地域の団体ですから、こういつた小団体を作り具体的な活動をする義務さえあるといえます。

活動を本来の目的としている

青年たちが子供たちのために愛と力をさゝげている例も沢山あります。

けれども、PTAは直接に子供をしあわせにする活動を本来の目的としている団体ですから、こういつた小団体を作り具体的な活動をする義務さえあるといえます。

そこで目標は

一、不良化防止
二、地域子供会の育成
三、交通水難事故防止
四、レクリエーション
五、班員の学習
六、環境整備

そして、活動の進め方としては特に

一、自主的に子供への愛情と理解から盛り上がつたものにする。

二、形式化しないで、何からでも実際に活動しやすいものにする。

三、親と教師を中心として地域のみんなの協力と関心を得られやすいものにする。

四、子供の非行を決して個人的な責任として追求しないで、社会的原因をさがし出して、非行や危険を生み出す条件を取り去る。

五、子供みずから力を合わせて、非行や危険を防止し守り合えるように育てる。

その運営は

一、愛護班は、自然発生的なのが本来の在り方である。

二、一人一人役主義をもとに計画的に小さい事からでも、すぐ実行していくこと。

三、座談会を開きながら、平等の立ち場で話し合いの機会を持ち合う。

四、いろんな祝祭日には、それにちなんだレクレエーションも子供たちと共に持つこと。

五、班員のみんなが、いつも顔を合わせ、相談し合う機会を公民館や自宅の輪番で持つ。

六、家庭学習、続書会、お茶、生け花等あらゆる共通のテーマをとらえて結びつけて行く。

（資料　愛媛新聞社）

告知板

▼入学式は四月八日

昭和三十九年度入学児童生徒の入学式は、四月八日水曜日（時間は、各学校によつて違います）各小中学校で行われます。

なお、この春、小学校へ入学する子供さんは、昭和三十二年四月二日から昭和三十三年四月一日までに生まれた子供さんです。

もうすでに入学通知書は届いている事と存じますがもし、もれている方がありましたら、教育委員会か、近くの学校へご連絡下さい

▼番号簿

次の方が追加になりましたから、「長浜町有線放送電話番号簿」（昭和三十八年十一月一日発行の分）に記入して下さい。

二ページ
氏名　岩城荘三
番号　三〇七
部落名　横町

十ページ
氏名　宮本庫雄
番号　五四三
部落名　沖浦

二十六ページ
氏名　白井芳夫
番号　一八九
部落名　加屋

▼有線放送電話

次の方が追加になりましたから、「長浜町有線放送電話番号簿」（昭和三十八年十一月一日発行の分）に記入して下さい。

二ページ
氏名　岩城荘三
番号　三〇七
部落名　横町

十ページ
氏名　宮本庫雄
番号　五四三
部落名　沖浦

二十六ページ
氏名　白井芳夫
番号　一八九
部落名　加屋

▼行楽期の注意のいろいろ

花見どきには、留守を荒すあき巣ねらいが多くなりますので、鍵は二段、三段にかけること。

ちよつとの留守にも戸締りを忘れないこと。

戸締りは目立たないように工夫すること。

また行楽期には、留守中の火事や山火事などが増加しますので、外出時には必ず火の元の安全を確かめること。

タバコの火は必ずもみ消すこと。

交通法規をよく守り事故を起さないこと。

編集室

◇桜の咲くころは、人のからだの新陳代謝が盛んになり始め、バランスがくずれたり、ビタミンが不足したりして不調になりがちです。

◇四月は、新入学、進級就職の月。環境が変わると、とかく疲れやすいもの。家族の健康に十分気をつけましよう。